

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	42	—	事業名	社会体育団体(社会教育団体)補助事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課
------	----	---	-----	--------------------	------	-------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	2	住民の自主的な生涯学習活動を支える	款	9	教育費
		施策の進め方	1	自主的な学習の支援	項	4	社会教育費
	まちづくり 行程表	フラッグ	—		目	1	社会教育総務費
		政策分類	—		大事業	10	社会体育団体補助事業
	その他(関係法令、要綱等)		社会教育法第10条・11条、長久手市社会教育関係団体補助金交付要綱				
事業開始の背景、経緯等		昭和57年度以前～					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 社会教育団体の社会教育に関する事業、研究、大会の参加及び交流事業に要する経費に対し、予算の範囲内において交付する。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内の社会教育関係団体					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民団体の活発な活動を促進する。					
	事業を構成する事務事業	① 文化補助事業	現状維持	④			
		②		⑤			
		③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		1,765	1,765	1,800
決算					1,765	1,765	1,800	
人件費(B)	千円	決算		2,674	1,986	1,853		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		4,439	3,751	3,653		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A 補助団体の会員数(総数)	人	目標	—	5,400	5,500	5,600	5,600
			実績	5,235	5,354	5,402	5,571	
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 前年度実績を上回るように目標設定する。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣市町もほぼ同様に実施。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 平成26年度から会員数は増加しており、平成29年度は5500人を超えている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 団体活動の発展に寄与するよう補助金を交付しているが、団体による自己資金・自主財源等の確保にも努めていただきたいと考える。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 団体の会員数を増加させ、活動を促進する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 団体の会員数を増加させ、活動を促進する。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		社会体育団体（社会教育団体）補助事業										
番号	①	事務事業名	文化補助事業		款	9	項	4	目	1	大事業	10	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		昭和57年度以前			終了（予定）年度		—						

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	市内で活動している社会教育関係団体に対して、補助金を交付することで、社会教育事業の自主的な運営を支援する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	各団体の活動人数を増やし、活発な活動を促進する。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		1,765	1,765	1,800	1,800
		決算		1,765	1,765	1,800	
＜事業費の主な内訳（当該事業年度）＞							
①		小中学校PTA連絡協議会補助金				850	千円
②		文化協会補助金				700	千円
③		郷土史研究会補助金				200	千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
補助団体の会員数	人	目標	—	5,400	5,500	5,600	5,600
		実績	5,235	5,354	5,402	5,571	
		目標					
		実績					
＜備考：活動の概要（当該事業年度）＞							
社会教育団体が社会教育のために行う事業に要する経費に対し、予算の範囲内において交付する 長久手市文化協会700千円、長久手市小中学校PTA連絡協議会850千円、日本ボーイスカウト愛知連盟長久手第1団50千円、長久手市郷土史研究会200千円							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

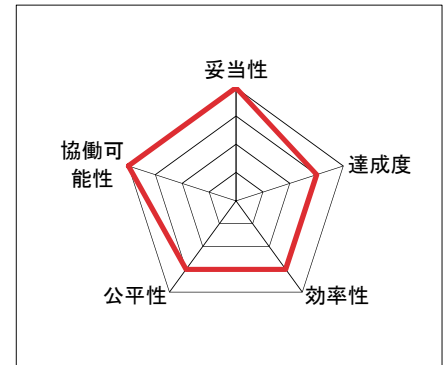
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
近隣市町もほぼ同様に実施。

## 5. 前年度からの改善状況

＜参考：前年度の事務事業評価のコメント＞
引き続き、適切に補助金を交付していく。
(何をどのような状態に改善したのか)
団体の活発な活動を促進するためにヒアリングを行った。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	4



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
補助金を交付することにより、市内の社会教育団体を活性化させた。

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
各団体から提出される補助金の申請・実績報告が遅いことを今後改善していく。

## 7. 今後の方向性

**現状維持**

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
団体の活発な活動を促進するため、ヒアリングを行う。今後も継続して、会員数増加を目指す。